

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 163 4月号

2019年4月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏電子図書館

電子図書館へは、
右のQRコードから
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)



読書と私 No.153

「想像する力」

龍野町 佐久間 祐一

小さな頃、寝物語に聞かせてもらっていた昔話が毎晩の楽しみでした。記憶にはありませんが、聞いているうちに眠気が覚めて続きをねだる私に、母は根気よく付き合ってくれたそうです。

物心つく頃には、地図と図鑑が私の大切な玩具のひとつになりました。様々に空想を巡らせた世界で、私は何時間でもひとりで遊んでいるような子どもでした。

そんな私にとって図書館は宝島でした。興味の向くまま、手にとるたくさんの本たちに掻き立てられた私の想像は無限でした。

知らない街で知らない言葉を話し、たくさんの人と出会い、宇宙や海底を旅して、非現実的な世界だって進んでいきました。

本で知ったものに実際触れた時、想像と実体験が重なった時、その時々感動や驚きは逆にかっかりした気持ちも含めて、私にたくさんの大切な瞬間を与えてくれています。

近頃は、調べることはインターネットで済ませることが自分自身も増えました。場所も時間も選ばずに、映像や音もすぐに検索できてしまいます。そう遠くない未来に紙の印刷物が無くなっても驚きはありません。

それでも、私は本に力を感じています。

それは、本が与えてくれる「想像の余地」の大きさです。二次元の限定された情報ゆえに、登場人物の声、街の空気、音、料理の味まで自由に想像できます。想像力があれば起こらなかったのではないかと感じる事件などを耳にするたび、本が与えてくれた想像力を思います。

手当たり次第に本を手にとっていた頃より多少の好き嫌いはできましたし、宇宙や海底の旅も実現しそうにはありませんが、私はこれからも図書館に通うと思います。

新しい出会いに心躍らせながら……。

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『紛争地の看護師』白川 優子 著 小学館



本書は、紛争地や災害地等で医療活動が無償で行う民間・非営利の国際団体である「国境なき医師団 (MSF)」に日本から看護師として参加した著者が、シリア、イエメン、南スーダン、パレスチナ

などの紛争地に8年間で17回派遣され、厳しい環境の中で、戦火に傷ついた市民への一次救命医療等に従事してきた記録である。

紛争地の子どもたちは、夜に遊ぶという。昼間は空爆や銃弾が飛んでくるためである。2012年7月イエメン南部アデン。夜9時に8人の子どもたちが運ばれてくる。全員、手足がぐしゃりと潰れていた。夜になって道端に落ちていた筒状のものを蹴って遊んでいただけである。ただそれが時限爆弾だった。MSFの外科チームが朝までに8人の手足の切断手術を行ったが、まだ自分の手足が無くなったことを知らず眠っている子どもたち。このまま起こしたくなかったとの著者の思いには胸が締め付けら

れる。

シリアでは、10歳の男の子が片足を撃たれて運ばれてきたが、「早く退院して、お父さんを殺したやつを殺しに行く！」と言う。著者は、まだ10歳の少年が人を殺しに行くと呼んでいふことに言葉を失うが、世界にこの少年の言葉を聞かせるべきだ、復讐の連鎖はこうして作られると主張する。

著者は、「日本でだって救える命はあると人は言うが、では誰が彼らの命を救うのか。医療を求めている人々の痛みや苦しみを、私には見過ごすことはできない」と危険を顧みず紛争地医療に従事する動機を述べている。

社会から「自己責任」とされながらも、世界各地の危険な紛争地帯等で、著者を含め多くの日本人が医療活動やジャーナリズム等を通して戦争の悲惨さを発信し続けている。「紛争地」の現実を平和慣れした日本人の目の前に突き付ける1冊である。(新宮図書館 米澤)

トピックス イベントのお知らせ

※申込、問い合わせは各図書館まで



第61回 こどもの読書週間 2019(4月23日~5月12日)

標語「下は読書のド♪」

「こどもの読書週間」は、子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、昭和34年に誕生しました。この機会にぜひお子さん、お孫さんと図書館にお越しください。

龍野図書館

龍野さくら祭応援企画
「龍野武者行列絵巻」展示
10mに及ぶ大作を展示します。

【作者】 森川 寿士 氏 (龍野武者行列保存会会員)
【日時】 4月5日 (金) まで 10時~18時
【場所】 龍野図書館

御津図書館

おたのしみ人形劇

子どもたちに人気の物語「番ねずみのヤカちゃん」を人形劇で楽しみましょう!

【出演】 人形劇団 ペこちゃん 【演目】 「番ねずみのヤカちゃん」ほか
【日時】 4月21日 (日) 10時15分~11時 ※10時にはお越しください
【場所】 御津図書館 2階 多目的室 【対象】 3歳以上 (大人のみの参加も可)
【定員】 50名 (先着順) 【申込】 御津図書館 (電話可)

新宮図書館・揖保川図書館

「一日図書館員」募集!

本の貸出や返却、本のカバーかけなどの図書館の仕事を経験してみませんか?

【日時・場所】 ※時間はいずれも9時30分~16時

5月2日(木)	新宮図書館	5月5日(日)	揖保川図書館
5月6日(月)	新宮図書館	5月6日(月)	揖保川図書館

【定員】 各回3名
【対象者】 市内在住・在学の小学5年生から高校3年生までの方
【申込】 4月27日 (土) までに各図書館へ (電話可)



おすすめする子どもの本・151

『ピーターのくちぶえ』

エズラ=ジャック=キーツ さく きじま はじめ やく 偕成社



ピーターは、男の子が口笛を吹いて犬と遊んでいるのを見て、自分も口笛が吹けたらいいなと思いました。何度も何度も吹こうとしてみましたが、さっぱり鳴りません。ピーターは犬のウィリーがやってくるのを見て、空き箱の中に隠れました。ここで口笛を吹いたら、ウィリーは誰が吹いているのか気になって面白いだらうなと考え、また口笛を吹こうとしてみましたが、やっぱり鳴りません。ウィリーはそのまま通り過ぎてしまいました。家に帰ってきたピーターは、ほっぺたがくたびれるくらい吹きましたが、それでも鳴りません。お父さんの帽子を被り、大人になった気持ちで練習し

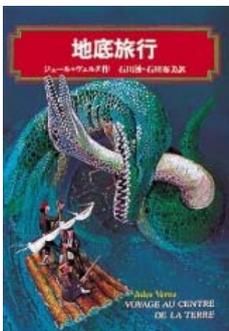
てみても鳴りません。

ピーターはまた通りへ出て空き箱のあった角に来ました。するとそこへ、ちょうどウィリーが現れました。空き箱の中へ潜り込んで、吹いて、吹いて、吹きまくと、ふいに口笛が鳴りました。ピーターは家に駆けて帰ると、お父さんとお母さんに何ができるようになったのかを見せました。そして、みんながピーターの口笛を気に入りました。

鮮やかな色彩の絵に、表情豊かで動きのあるピーターの姿から、何度練習しても口笛が吹けないつまらなさや悔しさ、吹けたときの満足感が伝わります。読んであげるなら3歳くらいから。

(御津図書館 中塚)

『地底旅行』ジュール=ヴェルヌ 作 石川 湧・石川 布美 訳 偕成社



ある日、ドイツ人鉱物学者のリデンプロック教授は、古本の中から16世紀アイスランドの錬金術師が書き残した古文書を発見します。甥で助手のアクセルの協力もあって、そこに記された謎のルーン文字の暗号を解読すると、アイスランドの休火山の噴火口から地球の中心に到達する地下通路があるというメッセージだと分かりました。

それを信じた変わり者のリデンプロックは、優柔不断なアクセル、頼もしい現地案内人のハンスとともに、食糧や道具、武器、機械を準備し、地底への探検旅行に出発します。道中、一行は長い地下道で食糧が底を尽きて何日も飢えや渇きに苦しみ、不気味な洞窟で離れ離れになってしまっ暗闇の迷路をさ

まようなど絶体絶命のピンチに陥りますが、危機一髪のところ切り抜けます。そして、次第に友情や絆が芽生え、励まし合い、助け合い、何度も困難を乗り越えた末、ついに地底に辿り着きます。そこには地上と同じように空と海があり、恐竜などの古代生物や巨大化した植物が生息する不思議な世界が広がっていました。最後は活火山の噴火に遭遇し、3人は命からがら地上へ帰還を果たします。

SFの父と称されるフランス人作家ジュール=ヴェルヌが1864年に発表した冒険小説の傑作で、スリルとロマンに満ちた前人未踏の地下世界への旅に胸が躍ります。作者の豊富な科学知識と驚異的な想像力が融合した世界観は、今なお輝きを失わず、155年前の作品とは思えません。小学校高学年くらいから。

(揖保川図書館 楠田)



4月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者

13日(土)・20日(土)
11時～11時20分
『きゅっ きゅっ きゅっ』他

揖保川図書館

【対象】1～2歳児、保護者

6日(土)・18日(木) 10時30分～10時50分
『スプーンちゃん』他

【対象】3～4歳児、保護者

13日(土)・20日(土) 10時30分～10時50分
『三びきのやぎのがらがらどん』他

新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者

8日(月)・14日(日)・22日(月)
11時～11時20分
『もこもこもこ』他

御津図書館

【対象】1～4歳児、保護者

14日(日) 11時～11時20分
『ぞうくんのさんぽ』他

【対象】5歳児～

14日(日) 11時30分～11時50分
『ロバのロバちゃん』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館

6日(土)・13日(土)・20日(土)・27日(土)
10時15分～10時45分
「びんぼうこびと」他

揖保川図書館

6日(土)・13日(土)・20日(土)
11時～11時30分
「ミリー・モリー・マンデーおつかいにいく」他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館

12日(金)
10時～11時30分
『手紙』
東野 圭吾 著

揖保川図書館

5日(金)
10時～12時
「年間計画作成」

御津図書館

17日(水)
13時30分～15時30分
『告知』
久坂部 羊 著

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

龍野図書館

11日(木) 10時～11時30分
総会



館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

「こどもの読書週間」展示 すごいぞ! ども!

世界一強い女の子や名探偵の男の子、屋根からお父さんの傘で飛ぶ女の子、などなど。
元気な子どもたちの活躍やいたずら(?)が描かれた本を紹介します。

【期間】4月中旬～
5月中旬まで

新宮図書館

平成を振り返る

消費税、ワールドカップ、新興宗教、地震、地球温暖化、ソーシャルネットワークなど、様々なキーワードで平成を振り返ります。同時にベストセラーとなった小説も紹介します。

【期間】4月28日まで

揖保川図書館

春だ! はじめてだ!

待ちに待った春がやってきました。誰もが気分を一新し、新生活のスタートを切るこの季節に、今までチャレンジしたことのない趣味やスポーツなど新しいことを始めてみませんか?

【期間】4月29日まで

御津図書館

平成を振り返ろう

2019年4月30日で「平成」が終わり新元号に代わります。あなたの心に残っている出来事は何ですか? 「平成」とは、どのような時代だったのかをベストセラー小説や写真集等で振り返ります。

【期間】4月30日まで